

**第7回 自動車関係税制のあり方に関する検討会  
全国知事会ヒアリング説明資料**

**宮崎県知事 河野 俊嗣  
(全国知事会 地方税財政常任委員長)**

**令和7年8月27日**

## 1 令和7年度与党税制改正大綱決定を受けた全国知事会声明（令和6年12月20日）

（略）自動車関係諸税については、公平・中立・簡素な課税のあり方について、中長期的な視点から、車体課税・燃料課税を含め総合的に検討し、令和8年度税制改正において結論を得ることとされた。自動車関係税収は地方にとって貴重な税財源となっており、今後、地方の社会インフラの更新・老朽化対策や防災・減災事業などに対する財政需要が一層増していくと見込まれることを考慮し、国・地方を通じた安定的な財源を確保することを前提に、議論を進めていただきたい。

### IV 税制抜本改革の推進等

#### 2 自動車関係諸税の見直し

（略）自動車税は、財産税的性格と道路損傷負担金的性格を有する都道府県の基幹税であり、税源の乏しい地方にとって貴重な自主財源であるが、地方の社会インフラの更新・老朽化対策や防災・減災事業などに対する財政需要が一層高まっていくと見込まれる中、車体課税に係る税収は、2025年度（令和7年度）は1兆9,923億円で、ピーク時の1996年度（平成8年度）と比較すると、4,200億円程度の税収減が見込まれており、安定的な財源確保に懸念がある。

自動車税・軽自動車税環境性能割については、自動車をもたらすCO<sub>2</sub>排出、道路の損傷、交通事故、公害、騒音等の様々な社会的費用にかかる行政需要に着目した原因者負担金的性格を有し、環境インセンティブを強化する観点から、自動車の環境性能に応じて税率を決定する仕組みとされている。そのため、結果として、課税されるのはガソリン車等の「燃費性能の悪い（CO<sub>2</sub>排出量の多い）自動車」となっている。また、令和7年度においては約1,900億円の税収が見込まれており、都道府県・市町村の貴重な財源となっている。

令和7年度与党税制改正大綱に基づき、取得時における負担軽減等課税のあり方の見直しを行うに当たっては、こうした点を十分踏まえつつ、検討すべきである。

## 2 地方税財源の確保・充実等に関する提言（令和7年7月23日全国知事会）

また、自動車税種別割においては、エンジンを持たず総排気量の値がない電気自動車等に対し、車両の価格・重量等に関わらず、最低税率（25,000円）が適用されていること等について、税負担の公平性の観点から課題がある。

このため、「2050年カーボンニュートラル」目標の実現を、補助金等を含めた施策全体で積極的に進める中で、地方に多くの雇用を抱える自動車産業への影響に配慮しつつ、税負担の公平性を確保し、地方の財政需要に対応した税源を安定的に確保できるよう、課税趣旨を適切に踏まえ、電気自動車等を含むすべてのパワートレイン間で公平・普遍で簡素な税体系の構築について、早期に検討し結論を得るべきである。

なお、仮に車体課税の大幅な見直しを行う場合には、納税者にとって分かりやすい制度となるよう留意するとともに、各地方団体における基幹税務システムの改修や条例の制定、納税者への周知をはじめとした課税庁の事務負担等にも配慮の上、その施行時期等について検討すべきである。

また、いわゆる「ガソリンの暫定税率」の廃止については、地方の安定的な行政サービスの提供及び財政運営に支障が生じないように、地方の意見を尊重し、地方の減収については代替の恒久財源を措置するなど、国・地方を通じた安定的な財源を確保することを前提に、丁寧に議論を進めるべきである。

#### 【主な意見】

- 環境性能に優れた自動車が非課税となることで、燃費性能の悪い(CO<sub>2</sub>排出量の多い)自動車が課税対象となり、結果として環境性能に優れた自動車の購入の促進に繋がっている。
- より環境インセンティブが働くよう税率区分の見直しを求める意見や、保有利用時の環境インセンティブを含めてカーボンニュートラルに資する仕組みの構築が必要との意見もあり。

#### 意見例

- 環境性能に優れた自動車が非課税となることで、燃費性能の悪い(CO<sub>2</sub>排出量の多い)自動車が課税対象となり、結果として環境性能に優れた自動車の購入の促進に繋がっている。
- 現行の環境性能に応じた税率を決定する仕組みは環境インセンティブとしての効果は発揮されているものとする。
- 本県においても、自動車・軽自動車のうち環境性能割税率軽減車が半数以上を占めており、取得時のインセンティブとして、機能していると考えられる。
- 購入に対する補助金などの施策の効果と相まって、環境性能に優れた自動車の購入促進に向けた一定のインセンティブになっていると想定されるが、税による効果の程度については不明。
- 取得時の負担軽減が、一時的に環境性能に優れた自動車の購入を促進する効果があると考えられる一方、保有や利用時における環境インセンティブも含めて、自動車の取得から保有、利用に至る一連の中でカーボンニュートラルに資する仕組みを構築する必要がある。その際には、保有・利用時における適切な課税による買い替え需要の喚起など、国内市場の活性化の視点も必要。
- 全体の半数以上が非課税となってしまうと、環境性能がより優れた車両取得のインセンティブが働くよう税率区分の見直しが必要。

### 【主な意見】

- 電気自動車（EV）への課税基準については、公平性の観点から、課税趣旨を踏まえ、見直すべきである。

### 意見例

- 種別割は、財産税的性格と道路損傷負担金的性格を併せ持つ税とされており、一般的に、より高価で重量が重いEV車に最低税率が適用されている現状は、公平性の観点から課題がある。最低税率が適用され続けたまま普及が進めば、道路等の社会インフラの整備・維持に必要な財源が不足する事態が懸念されるため、課税趣旨を踏まえ、EV車を含めた自動車ユーザーに対し、適切な税負担を求めるべきである。
- 税負担の公平性を確保し、地方の財政需要に対応した税源を安定的に確保できるよう、課税趣旨を適切に踏まえ、電気自動車等を含むすべてのパワートレイン間で公平・中立・簡素な税体系を構築すべきである。
- 電気自動車等（EV・FCV）は、エンジンを持たず総排気量の値がないため、便宜上、最低税率を適用しているが、自動車税の性格を踏まえれば、税負担の公平性の観点から見直す必要がある。
- 電気自動車等については、種別割の課税趣旨を踏まえ、財産的価値や道路損傷その他車両から生じる影響を適切に反映した新たな課税の基準及び税率等を検討する必要がある。
- 環境性能に優れているという点において、非電動車との差は設けるべきであるが、排気量と重量の組み合わせなどの複数の基準を組み合わせる税率区分を設けるなどの複雑な仕組みは避けた方が良く考える。税負担の公平性を適切に見直すことで、簡素で公平な納税者の理解を得られる制度とすべきである。
- 電動化に伴い、排気量に応じた課税は普遍的な指標とはならない。あらゆるパワートレイン間で公平・普遍で簡素な、新たな時代に相応しい税体系・負担水準へと抜本的に見直すべきである。

【主な意見】

- 地方団体の事務・財政負担やシステム改修、条例改正等への対応を踏まえた十分な準備期間と国の支援、納税者への丁寧な周知と理解促進が必要である。

意見例

1 地方団体の事務・財政負担とシステム改修への対応:

- 自動車税制の見直しは、各地方団体における基幹税務システムの改修や納税者への対応など、相応の事務負担及び財政負担を伴う。特に大規模な見直しとなる場合は、これらの負担は著しく増大するため、十分な準備期間の確保と国による財政的・技術的支援が不可欠である。
- 現在、自動車税(種別割)は、年に一度賦課徴収しているが、課税庁での課税に係るコストや徴収コスト、及び納税者においても納付する煩わしさから、自動車重量税などと同様に前納にするなど納付時期についても検討する必要がある。
- 自動車税制の見直しは、各地方団体における基幹税務システムの改修や事務フローの変更、様式や用紙の修正、納税者への周知など、事務負担の増加や財政負担を伴う。特に大規模な見直しとなる場合は、これらの負担は著しく増大するため、十分な準備期間の確保と、国による財政的支援及び納税者への周知が必要と考える。
- 税制改正内容を地方税として施行するには、各地方団体での条例改正が必須となる。改正内容によっては、議会での審議や広範な調整が必要となり、その規模に応じて時間と労力を要するため、十分な時間を確保した制度設計と、円滑な改正手続きのための国からの情報提供・支援が求められる。
- 人口減少社会に突入し、今後公務員数の減少も確実である中、徴収コストを下げる観点での見直しも必要。
- 今後の人口減少下においては、限られた人的資源の中での対応となるため、税務行政全体の効率化やDXを進め、今まで以上に簡素を重視した見直しを行うべき。

2 丁寧な周知と理解促進:

- 税制改正の内容が複雑化すると、納税者にとって理解しにくく、問い合わせ増加や徴収事務の混乱を招く可能性がある。改正の趣旨、内容、具体的な影響について、納税者に対し分かりやすく丁寧な周知広報を徹底することが重要。
- 自動車税制の内容がより複雑化すると、地方団体の職員、納税者双方にとって理解しづらい制度となり、課税誤りの発生や、これまで以上の問い合わせの増加を招く可能性がある。そのため、できるだけ簡素で分かりやすい税制とすることが必要と考える。